

令和2年6月15日（月）
公表（プレスリリース）

R020617【公共施設等適正化検討委員会】資料3-2

公共施設の現状 2020

～建築物の施設数及び延床面積～
令和2年4月1日現在

令和2年6月

長野市

総務部 公有財産活用局
公共施設マネジメント推進課

公共施設の現状 2020

はじめに

本市では「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」を基本理念とし、公共施設の現状と課題などを市民の皆さまと共有しながら、公共施設マネジメントの推進に取り組んでいます。

公共施設の現状と課題等については、平成 25 年 10 月に長野市公共施設白書を公表し、その中で、建築物について 815 施設、延床面積では約 154 万㎡を保有し、市民一人当たりの延床面積 4.0 ㎡は全国平均 3.2 ㎡を上回っていることや、今後 40 年間の改修・更新費用が、総額約 5,858 億円と推計されることなどを示しました。

平成 30 年 6 月には、建築物を対象に公共施設白書では対象としていなかった小規模なものも含め、公共施設の総量等について集計し、以後毎年度公表することとしました。総量等の公表は、令和元年 6 月に、個別施設計画の策定単位に合わせ集計しており、このたび、令和 2 年 4 月現在の公共施設（建築物）総量等について取りまとめましたので、次頁以降をご覧ください。

なお、将来の改修更新費用などのコストについては、平成 31 年 2 月に「中長期保全計画」として公表しています（HP 参照）。

また、インフラ施設については、令和 3 年度の公共施設等総合管理計画の改訂時に公表を予定しています。

目次

1. 公共施設（建築物）の総量	2
(1) 公共施設の総量	2
(2) 前提条件	2
(3) 2019 公表値の再集計	4
2. 項目別の総量比較	5
(1) 施設保有量	5
ア 施設数の比較	5
イ 延床面積の比較	7
(2) 建築年度別整備状況	9
ア 2019 公表値	9
イ 現状	9
(3) 年度別施設総量の推移	10
○参考（公共施設白書との比較）	11
(1) 公共施設の総量比較	11
(2) 公共施設白書以降の主な取り組み	11

1. 公共施設（建築物）の総量

（1）公共施設の総量

現状の施設総量等（建築物）を昨年度公表値（以下、「2019 公表値」という。）と比較し、表1にまとめました。

本書で対象とする公共施設の施設数は、1,376 施設、延床面積の合計は、約 167 万㎡（令和2年4月1日現在）です。

市民一人当たりでは、約 4.47 ㎡/人となっています。建築後 30 年以上経過した老朽化施設の面積は約 78 万㎡で、その割合は全体の半分近く（約 47%）に達しています。

前年度との差は、施設数は 12 施設増え、延床面積の合計は約 7 千㎡増えました。

昨年度より延床面積は増え、人口は減っている（約 2 千人減少）ため、市民一人当たりの延床面積は、約 0.04 ㎡/人増えています。老朽化施設の延床面積は約 2 万㎡増え、その割合も約 1.0%増えています。

表1 公共施設総量 総括表

項目		2019 公表値 【H31.4.1 現在】	現状 【R02.4.1 現在】	増 減 (前年度との差)
総量公表施設		全施設	全施設	-
人口（人） (A)		376,080	373,971	- 2,109
施設保有量	施設数（施設）	1,364 ※1	1,376	+ 12
	延床面積(㎡) (B)	1,666,629	1,673,372	+ 6,743
	市民一人当たり面積(㎡/人) (B/A)	約 4.43	約 4.47	+ 0.04
老朽化 (築 30 年以上)	割合 (C/B)	45.8% ※2	46.8%	+ 1.0%
	面積(㎡) (C)	763,137 ※2	783,410	+ 20,273

※1：昨年度公表時は 1,369 施設でしたが、4 頁「2019 公表値の再集計」のとおり再集計した結果、1,364 施設になっています。

※2：昨年度は、老朽化面積 785,492 ㎡、老朽化割合 47%としていましたが、上記のとおり訂正いたします。

（2）前提条件

集計の前提条件は、次のとおりです。

- ① 平成 30 年 2 月の総務省通知に基づき、本書の対象とする施設は上下水道施設を除く全施設とします。

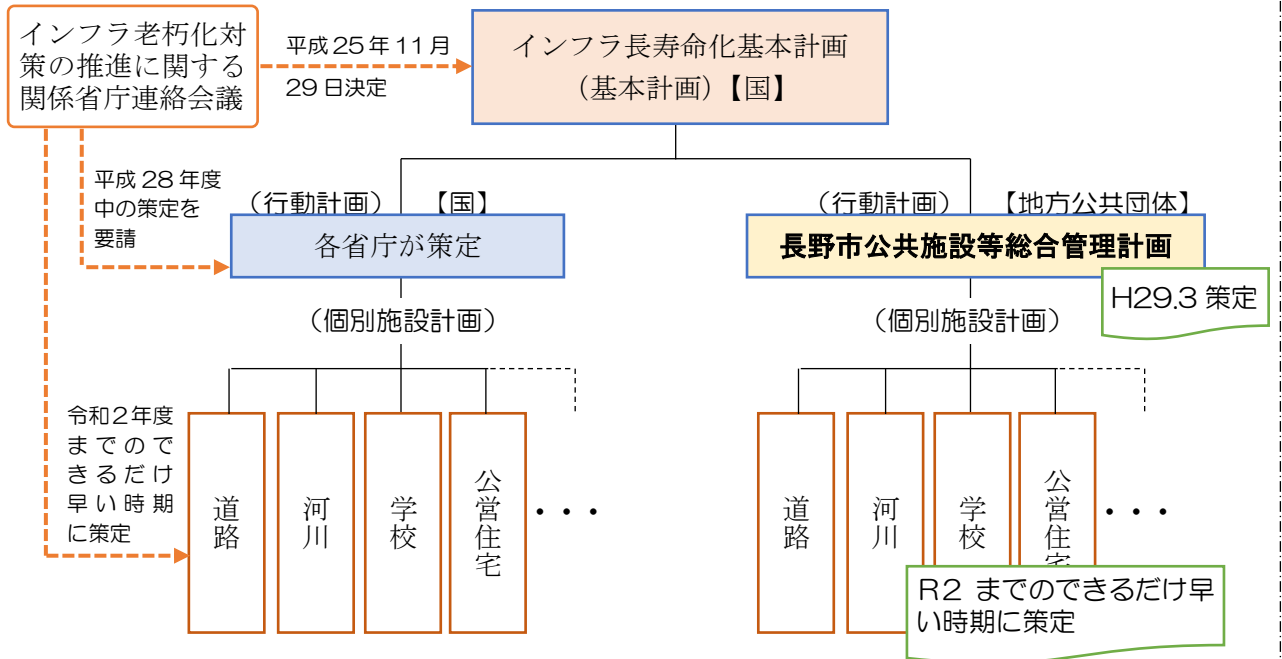
平成 30 年 2 月総務省通知「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の改定について」（指針抜粋）公共施設等及び当該団体を取り巻く現状や将来にわたる見通し・課題を客観的に把握・分析すること。なお、これらの把握・分析は、公共施設等全体を対象とする

- ② 公共施設マネジメント支援システムに登録されている施設単位としています。システムは公有財産台帳と連携しているため、用途廃止され普通財産になっても、原則建物が解体されるまでは登録されています。
- ③ 施設内にある建築物（棟）は、小規模なもの（渡り廊下、倉庫、プール更衣室等）もすべて含まれています。学校など多くの建築物（棟）がある施設は、棟数にかかわらず 1 施設として数えています。
- ④ 1 つの建物に異なる用途がある複合施設などは、それぞれを 1 施設として数えています。
例) ○○総合市民センター ⇒ ○○支所 + ○○公民館 （2 施設）
- ⑤ 建物の建築年は、棟ごとに細かく分類するために年度ごとに集計しています。
- ⑥ 現在策定中の個別施設計画（建築物）との整合性を図るため、対象施設及び分類については、個別施設計画の策定単位に合わせ集計しています。

○個別施設計画の位置付けと目的 ～長野市個別施設計画策定方針抜粋～

個別施設計画は、長野市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月策定）に基づき、個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、点検診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めるもので、インフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月インフラ老朽化対策に関する関係省庁連絡会議策定）に基づく個別施設計画となります。

本計画に基づき、戦略的な維持管理・更新等を行い、「将来世代に負担を先送りすることなく、より良い資産を次世代に引き継いでいく」ことで、幸せ実感都市「ながの」の実現を図ります。



個別施設計画の内容を総合管理計画に反映させるため、個別施設計画策定後に総合管理計画を見直し、改訂する予定です。

個別施設計画（建築物）の策定単位は以下のとおりです。

大分類	中分類(主な施設) = 個別施設計画の策定単位
学校教育施設	学校施設(小学校、中学校、高等学校、学校給食センター)など
生涯学習・文化施設	公民館・交流センター、集会所、市民文化コンベンション施設、図書館、博物館、隣保館など
観光・レジャー施設	温泉保養・宿泊施設、スキー場、キャンプ場など
産業振興施設	産業振興施設(農村環境改善センター、特産物販売施設など)
体育施設	体育館・屋内運動場、大規模運動施設、市民プールなど
保健福祉施設	保育所・認定こども園、児童館・児童センター、老人憩の家、保健センターなど
医療施設	病院・診療所
行政施設	本庁舎、支所、消防庁舎、消防団詰所、教職員・職員住宅など
市営住宅等	市営住宅など
その他施設	駐車場、交通施設など
対象外施設(策定しない施設)	インフラ系(排水機場、公園)施設、文化財など


(3) 2019 公表値の再集計

個別施設計画の策定を進める中で、施設の大分類等を変更したことから、前年度との増減を単純に比較するため、2019 公表値を再集計しています。

1) 大分類が変更されている施設 (6 施設)

<2019 公表値>

施設名	大分類	延床面積[m2]	
青少年錬成センター	学校教育施設	2,329	3,638
青少年錬成センター分館	学校教育施設	1,190	
陣場平青少年山の家	学校教育施設	39	
鬼無里公民館上里分館(上里資料館)	学校教育施設	80	
中部公民館第四地区分館	生涯学習・文化施設	484	484
宮教員住宅	行政施設	307	307

 個別施設計画策定に伴い、大分類の変更がされています
(大分類を変更し再集計)

<2019 公表値の再集計>

施設名	大分類	延床面積[m2]	
青少年錬成センター	生涯学習・文化施設	2,329	3,638
青少年錬成センター分館	生涯学習・文化施設	1,190	
陣場平青少年山の家	生涯学習・文化施設	39	
鬼無里公民館上里分館(上里資料館)	生涯学習・文化施設	80	
中部公民館第四地区分館	その他施設	484	484
宮教員住宅	その他施設	307	307

※施設数 増減なし

※延床面積 増減なし

2) 市所有ではない施設 (県有施設) 又は建築物ではない施設 (工作物) (5 施設)

<2019 公表値>

施設名	大分類	延床面積[m2]	
長野運動公園総合運動場県営野球場	体育施設	0	県有施設
長野市戸隠情報通信施設	その他施設	0	工作物
長野市鬼無里情報通信施設	その他施設	0	工作物
長野市信州新町情報通信施設	その他施設	0	工作物
長野市中条情報通信施設	その他施設	0	工作物

個別施設計画では対象から除いています

<2019 公表値の再集計>

(リストから削除し再集計)

施設名	大分類	延床面積[m2]	
長野運動公園総合運動場県営野球場	-	県有施設のため削除	
長野市戸隠情報通信施設	-	工作物のため削除	
長野市鬼無里情報通信施設	-	工作物のため削除	
長野市信州新町情報通信施設	-	工作物のため削除	※5施設減
長野市中条情報通信施設	-	工作物のため削除	※延床面積 増減なし

1) と 2) により、2019 公表値を再集計した結果、施設数は 1,369 施設 ⇒ 1,364 施設となっています。総延床面積については、再集計しても変わりはありません。

また、表 2 (5 頁) 及び表 5 (7 頁) における 2019 公表値についても、再集計により総延床面積に変わりはありませんが、分類別の施設数や延床面積に増減が生じています。

2. 項目別の総量比較

(1) 施設保有量

ア 施設数の比較

施設分類別の施設保有量（施設数）を表2にまとめました。

施設数の合計は、1,376施設で、2019公表値より12施設増えています。

表2 施設保有量(施設数)

大分類	2019 公表値	現状	増減(前年度との差)
学校教育施設	108	108	0
生涯学習・文化施設	142	142	0
観光・レジャー施設	61	61	0
産業振興施設	67	67	0
体育施設	82	82	0
保健福祉施設	164	163	-1
医療施設	21	21	0
行政施設	428	440	12
市営住宅等	96	95	-1
その他施設	96	95	-1
対象外施設	99	102	3
合計	1,364	1,376	12

※2019公表値について、4頁「2019公表値の再集計」のとおり再集計した結果、昨年度公表時とは分類ごとに増減が生じています。

昨年度から12施設増加

新たに登録された施設は、表3のとおりです。

旧芹田支所や篠ノ井第一分団車庫などの行政施設は13施設、長野駅東口公園やセントラルスクウェアなどの対象外施設は3施設増え、合計16施設増えています。

単純に増えた施設は、①旧芹田支所、②篠ノ井第一分団車庫、⑫あやとり安茂里公園、⑮セントラルスクウェアの4施設です。①は、別敷地へ芹田支所が移転（芹田総合市民センター）したことにより、移転後の施設が旧芹田支所となったものです。②篠ノ井第一分団車庫、⑫あやとり安茂里公園、⑮セントラルスクウェアの3施設については、建物を新築、残りの12施設（中条日下野分団上下条器具置場など）は、公有財産台帳への登録漏れによるものです。

表3 新たに登録された施設（施設数の増）

	増えた施設	大分類	延床面積	増えた理由
①	旧芹田支所	行政施設	511㎡	別敷地への移転改築(芹田総合市民センター)のため
②	篠ノ井第一分団車庫	行政施設	23㎡	車庫新築のため
③	中条日下野分団上下条器具置場	行政施設	25㎡	登録漏れのため
④	中条日下野分団念仏寺器具置場	行政施設	17㎡	登録漏れのため

⑤	中条日下野分団中内器具置場	行政施設	27 m ²	登録漏れのため
⑥	中条住良木分団青木器具置場	行政施設	69 m ²	登録漏れのため
⑦	中条住良木分団須坂器具置場	行政施設	32 m ²	登録漏れのため
⑧	中条住良木分団保高器具置場	行政施設	35 m ²	登録漏れのため
⑨	中条御山里分団姥久保器具置場	行政施設	23 m ²	登録漏れのため
⑩	中条分団月夜棚器具置場	行政施設	24 m ²	登録漏れのため
⑪	中条日高分団下五十里器具置場	行政施設	40 m ²	登録漏れのため
⑫	あやとり安茂里公園	行政施設	14 m ²	防災備蓄倉庫新築のため
⑬	長野駅東口公園防災備蓄倉庫	行政施設	94 m ²	登録漏れのため
⑭	長野駅東口公園	対象外施設	50 m ²	登録漏れのため
⑮	セントラルスクウェア	対象外施設	178 m ²	トイレ・ステージ新築のため
⑯	赤沼ポンプ場	対象外施設	154 m ²	登録漏れのため

登録を削除した施設は、表4のとおりです。

保健福祉施設、行政施設、市営住宅等、その他施設の合計4施設が減っています。

①旧松代老人憩の家は、別の建物（旧保健保養訓練センター）へ機能に移転した後に建物を解体したものです。

②大豆島分団松岡器具置場や③市営住宅長峰団地も、建物を解体し、④旧軻良根古保育園は、インターネット一般競争入札により売り払いを行ったものです。

表4 登録を削除された施設（施設数の減）

	減った施設	大分類	延床面積	減った理由
①	旧松代老人憩の家	保健福祉施設	460 m ²	別の建物へ機能移転、建物解体のため
②	大豆島分団松岡器具置場	行政施設	10 m ²	建物解体のため
③	市営住宅 長峰団地	市営住宅等	97 m ²	建物解体(3棟)のため
④	旧軻良根古保育園	その他施設	19 m ²	売り払いのため

イ 延床面積の比較

施設分類別の施設保有量（延床面積）を表5に、2019公表値から増減した主な施設を表6にまとめました。

延床面積の合計は、約167万㎡で、2019公表値より約6,700㎡増えています。

増えた延床面積は約11,200㎡、減った延床面積は約4,500㎡です。

表5 施設保有量（延床面積） (㎡)

大分類	2019 公表値	現状	増減(前年度との差)
学校教育施設	585,826	589,245	3,419
生涯学習・文化施設	161,695	162,237	542
観光・レジャー施設	122,269	122,408	139
産業振興施設	22,024	23,231	1,207
体育施設	157,832	157,789	-43
保健福祉施設	100,722	100,526	-196
医療施設	38,954	38,954	0
行政施設	186,927	188,749	1,822
市営住宅等	238,575	238,361	-214
その他施設	37,737	37,465	-272
対象外施設	14,069	14,407	338
合計	1,666,629	1,673,372	6,743

※2019公表値について、4頁「2019公表値の再集計」のとおりに再集計した結果、昨年度公表時と

合計面積は変わりませんが、分類ごとの面積には増減が生じています。

※面積は四捨五入のため表中の計算結果が一致しない場合があります。

昨年度から約6,700㎡増加

延床面積割合は、学校教育施設で全体の約35.2%、次いで市営住宅等が約14.2%となっており、学校教育施設と市営住宅等で、全体の約半分（49.4%）を占めています。

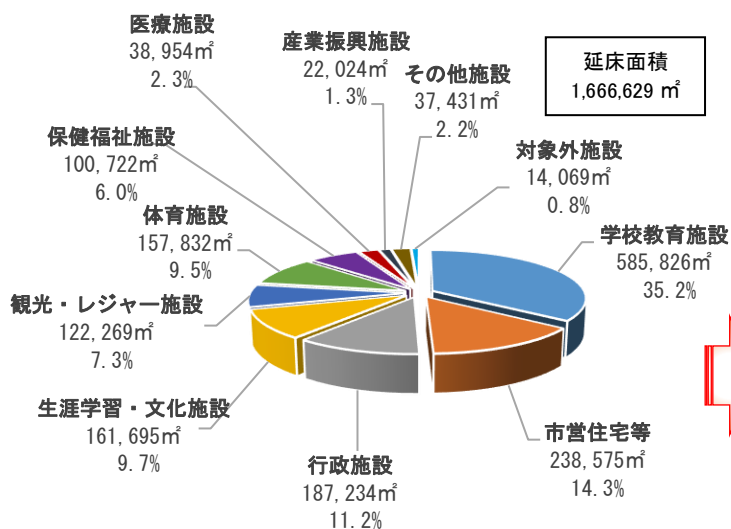


図1 施設分類別延床面積【2019 公表値】

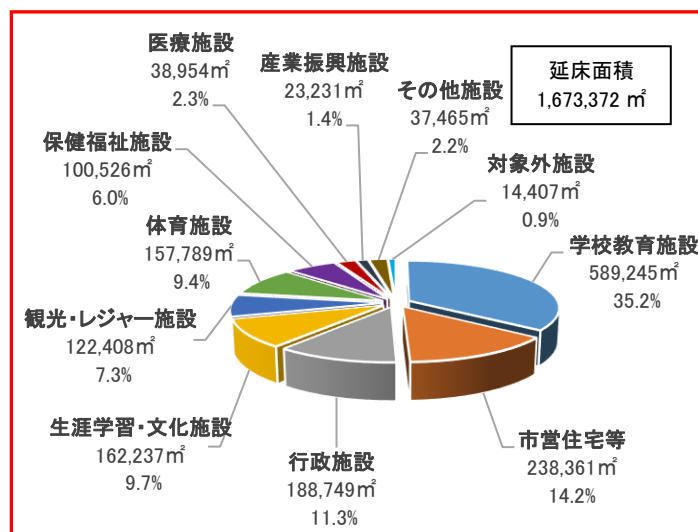


図2 施設分類別延床面積【現状】

表6 2019 公表値から延床面積が増減した主な施設

減った主な施設		増えた主な施設	
・旧芹田公民館(建替えに伴う解体)	861 m ²	・芹田総合市民センター(新築)	1,499 m ²
・若槻小学校(倉庫解体)	81 m ²	・若槻小学校(倉庫新築)	26 m ²
・中条公民館(建替えに伴う解体)	1,805 m ²	・第一学校給食センター(新築)	3,432 m ²
・旧松代老人憩の家(移転に伴う解体)	460 m ²	・篠ノ井総合市民センター(新築)	3,599 m ²
・松代荘(旧館解体)	347 m ²	・長野市保健所(猫舎増築)	171 m ²
・宮教員住宅(4棟解体)	253 m ²	・篠ノ井第一分団車庫(新築)	23 m ²
・市営住宅五明団地(2棟解体)	117 m ²	・あやとり安茂里公園(防災備蓄倉庫新築)	14 m ²
・市営住宅長峰団地(3棟解体)	97 m ²	・セントラルスクエア(トイレ・ステージ新築)	178 m ²
・旧軻良根古保育園(売り払い)	19 m ²		
・大豆島分団松岡器具置場(解体)	10 m ²		
・辰巳公園(管理事務所解体)	8 m ²		
・長沼交流センター(陶芸小屋滅失)	9 m ²		
・その他減った施設(面積錯誤・登録漏れによるもの)	417 m ²	・その他増えた施設(面積錯誤・登録漏れによるもの)	2,284 m ²
合計 4,484 m ²		増減 +6,743 m²	
		合計 11,226 m ²	

※面積は四捨五入のため表中の計算結果が一致しない場合があります。

なお、現在工事中であり延床面積が増える見込みとして、朝陽小学校屋内運動場(約2,000 m²)、中条総合市民センター(約2,300 m²)、松代荘の増築(約770 m²)、資源再生センターストックヤード(約610 m²)、七二会支所(約450 m²)などがあります。

一方で、延床面積が減る見込みとして、旧城山庁舎(約4,200 m²)、旧篠ノ井支所・交流センター(約2,400 m²)、旧清掃センター焼却施設(約10,600 m²)などがあります。

表7 今後、延床面積の増減を見込む施設

減る見込みの施設		増える見込みの施設	
・旧城山庁舎	約 4,200 m ²	・朝陽小学校屋内運動場	約 2,000 m ²
・旧篠ノ井支所・交流センター	約 2,400 m ²	・中条総合市民センター	約 2,300 m ²
・旧清掃センター焼却施設	約 10,600 m ²	・松代荘(客室棟ほか増築)	約 770 m ²
		・資源再生センターストックヤード	約 610 m ²
		・七二会支所	約 450 m ²
合計 約 17,200 m ²		増減 約 -11,070 m²	
		合計 約 6,130 m ²	

(2) 建築年度別整備状況

ア 2019 公表値

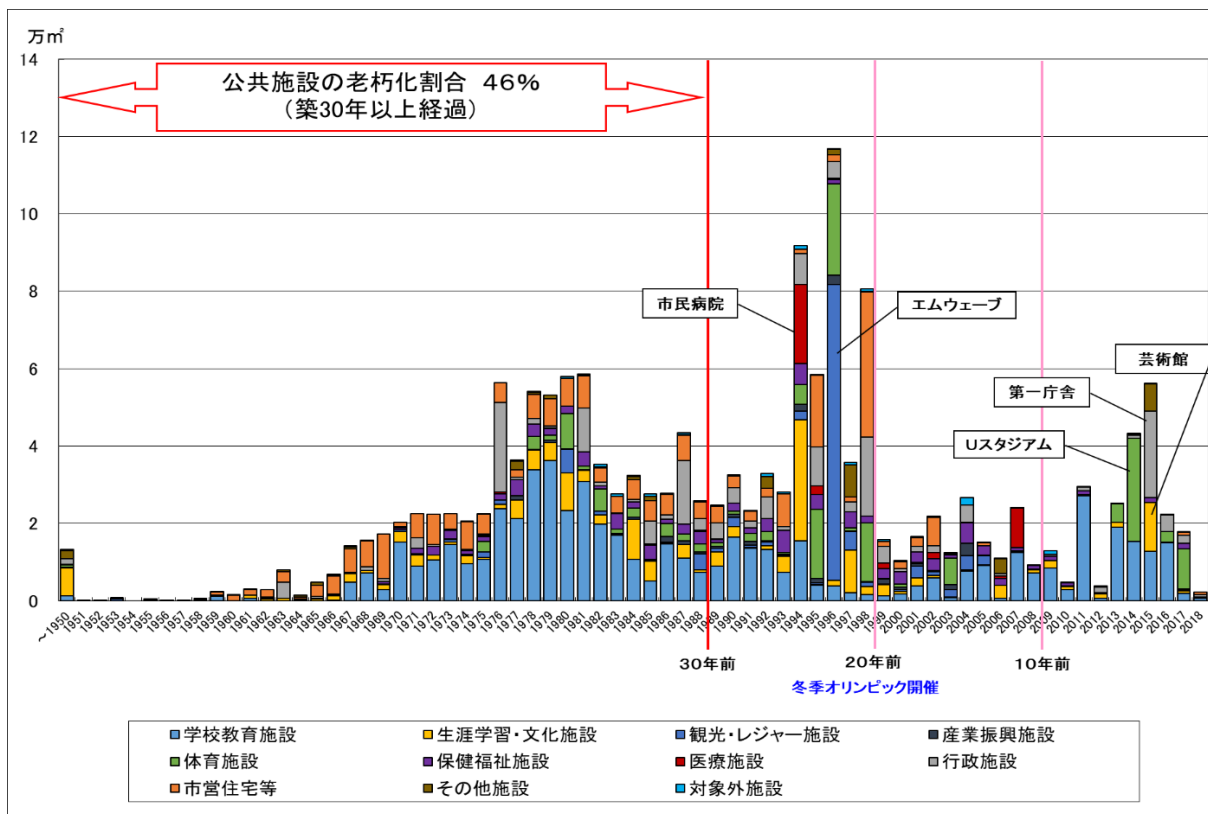


図3 公共施設の建築年度別整備【2019 公表値】

イ 現状

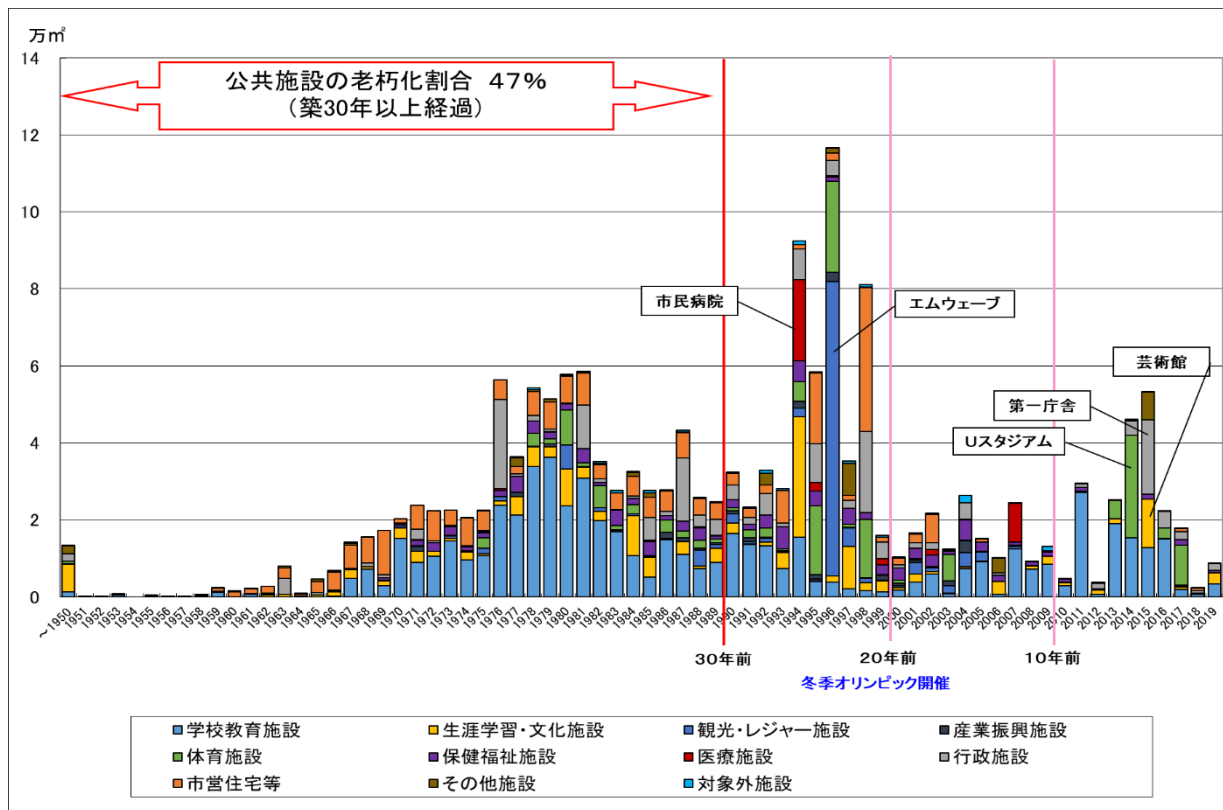


図4 公共施設の建築年度別整備【現状】

建築から30年以上経過している老朽化施設の割合は、2019公表値では46%だったものが、一年経過し平成元年度に建築された施設など約2万㎡増えたことから、47%となっています。

昭和41年から昭和56年頃をピークに、積極的に整備を行ってきた施設は、すでに建築から30年以上が経過しており、今後、大規模な改修工事や全面的な改築が必要となってきます。オリンピック関連施設も、今から5～6年後には、一斉に築30年を迎えることとなり、老朽化対策として、大規模な改修工事等が必要となります。

また、令和3年には新耐震基準（昭和56年）から40年が経過することから、長野市公共施設総合管理計画に基づく新耐震施設の長寿命化改修工事が始まるため、改修コストの増加が予想されます。

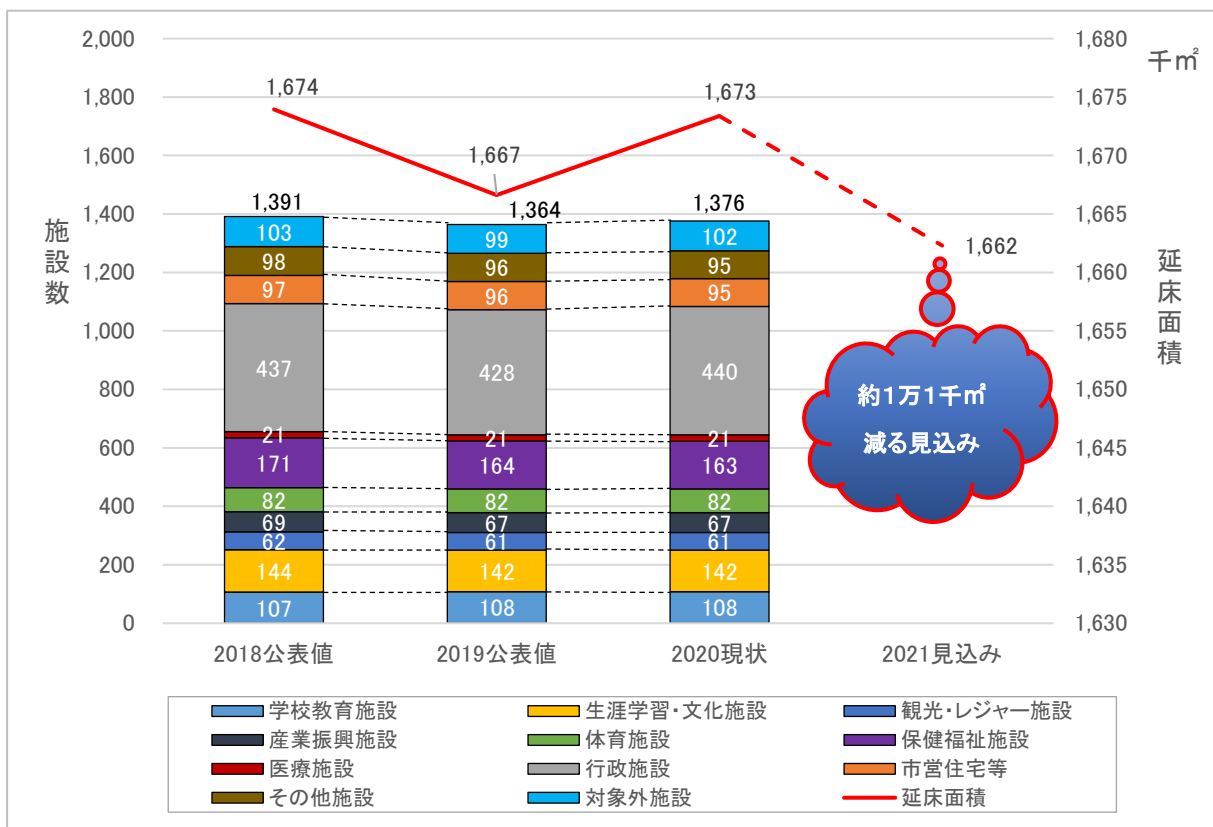
(3) 年度別施設総量の推移

年度別の施設数と延床面積の推移を図5にまとめました。

延床面積（折れ線グラフ）は、年度により減ったり増えたりを繰り返していますが、小規模施設の建替えなどでは、同じ年度内に建物を解体し新築しますが、建物の規模が大きくなると、解体と建設の施工年度にズレが出ること等によるものです。

例えば、篠ノ井総合市民センターは、令和元年度に新築しましたが、旧篠ノ井支所・交流センターは、令和2年度に解体を行います。また、第一学校給食センターは、平成29年度に建物を解体してから、令和元年度に新築したものです。今回の公表値は昨年度に比べ、延床面積が増えています。今後、少しずつ増減しながら、長期的には総量は減少していく見込みとなっています。

図5 年度別の施設数と延床面積の推移



○参考（公共施設白書との比較）

（１）公共施設の総量比較

現状の施設総量等（建築物）を白書（平成25年4月1日現在）と比較し、表8にまとめました。

表8 白書との総量比較【参考値】

項目		白書 【H25.4.1 現在】	現状 【R02.4.1 現在】	増減 【白書との差】
総量公表施設		200 m ² 以上 ※1	全施設 ※2	-
人口（人）（A）		385,150	373,971	- 11,179
施設保有量	施設数（施設）	815	1,376	+ 561
	延床面積（m ² ）（B）	1,542,946	1,673,372	+ 130,426
	市民一人当たり面積（m ² /人）（B/A）	約 4.01	約 4.47	+ 0.46
老朽化 （築30年以上）	割合（C/B）	44.0%	46.8%	+ 2.8%
	面積（m ² ）（C）	679,418	783,410	+ 103,992

※1: 白書では本市が保有する公有財産のうち、延床面積が原則200 m²未満の小規模施設、簡易な倉庫、公衆トイレ、文化財は除いています。

※2: 本書は、※1で除いている小規模施設や簡易な倉庫等もすべて含めています。

（２）公共施設白書以降の主な取組み

公共施設マネジメントにかかる主な取組みを表9にまとめました。

表9 公共施設マネジメントにかかる主な取組み

	施設名	内容	備考
H26.6	サンマリーンながの	9,277 m ² 廃止・解体、健康クリエイションセンター整備	
H26.8	後町小学校	5,365 m ² 廃止・解体、後町ホール整備	
H27.4	三輪保育園	844 m ² 民営化・施設移管	
H27.4	川田保育園	866 m ² 民営化・施設移管	
H27.4	下水鮑保育園	499 m ² 民営化・施設移管	
H27.7	戸隠基幹集落センター	599 m ² 廃止・解体	
H27.12	市役所第一庁舎	12,189 m ² 解体、新第一庁舎（芸術館）整備	
H28.3	大岡アルプス展望ふれあいセンター	475 m ² 用途廃止	売却
H28.8	更北公民館 青木島分館	259 m ² 廃止・解体	
H29.3	篠ノ井市民会館	2,397 m ² 廃止・解体、篠ノ井総合市民センター整備	
H29.4	フルネットセンター	1,975 m ² 用途廃止、公文書館等へ転用	
H29.4	豊野学校給食センター	564 m ² 第四学校給食センター設置に伴い用途廃止	普通財産
H29.5	大豆島テニスコート	161 m ² 管理棟廃止・解体	
H29.3	防災市民センター	938 m ² 鶴賀消防署に転用	
H29.7	旧中央消防署	1,892 m ² 解体、新中央消防署整備	
H29.7	駅周辺整備局事務所	554 m ² 廃止・解体	
H29.10	第一学校給食センター	2,701 m ² 改築整備に向けて解体、新給食センター整備	

	施設名	内容	備考
H30.3	スパイラル	冬季製氷を中止	
H30.3	皐月保育園	644 ㎡ 用途廃止、移転改築・皐月かがやきこども園へ	普通財産
H30.4	芹田児童センター	670 ㎡ 用途廃止 芹田小へ機能移転	売却
H30.7	更北支所	619 ㎡ 旧支所事務室解体後増築	
H30.10	清掃センター(焼却施設)	10,632 ㎡ ながの環境エネルギーセンター(広域連合)へ機能移転	工事中(解体)
H30.12	真島児童館	187 ㎡ 廃止・解体 真島小へ機能移転	
H31.3	中条音楽堂	677 ㎡ 用途廃止	普通財産
H31.3	駅前立体駐車場	2,833 ㎡ 用途廃止	普通財産
H31.3	松代老人憩の家	460 ㎡ 保健保養訓練センターへ転用、旧松代老人憩の家を解体	
H31.4	中御所保育園	682 ㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	若槻保育園	578 ㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	子どもの園保育園	499 ㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	川中島保育園	549 ㎡ 民営化・施設移管	
H31.4	豊野みなみ保育園	585 ㎡ 民営化・施設移管	
R01.6	中条公民館	1,805 ㎡ 総合市民センター改築整備に向けて解体	
R01.6	芹田総合市民センター	1,499 ㎡ 改築(支所・公民館を複合化)	
R01.8	篠ノ井総合市民センター	3,529 ㎡ 改築(支所・交流センター・老人福祉センターを複合化)	
R01.8	鬼無里ふるさとの館	536 ㎡ 用途廃止、解体予定	普通財産
R01.8	鬼無里若者コミュニティセンター	182 ㎡ 用途廃止、解体予定	普通財産
R01.9	旧芹田公民館	861 ㎡ 解体	
R02.3	飯綱高原スキー場	1,907 ㎡ スキー場運営終了、用途廃止	
R02.3	市民プール	信州新町・芹田・茶臼山・鬼無里 B&G 市民プール 用途廃止	
R02.4	アゼイリア飯綱	6,167 ㎡ 貸付	
R02.4	旧豊野学校給食センター	564 ㎡ 貸付	